

令和4年度（2022年度）

管理事業名	サッカースタジアム事業				総合計画 の体系	大綱 7	都市魅力
						政策 2	文化・スポーツに親しめるまちづくり
						施策 3	地域におけるスポーツの振興
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 38	サッカースタジアム費
部局名	都市魅力部	予算執行 所属	文化スポーツ推進室				
事業の目的と概要 【目的】 プロサッカーの試合やその他のスポーツ、催し等に施設を貸出すこと等により、スポーツの推進、青少年の健全育成、並びに市民及び地域の交流を図る。 【概要】 ・施設の貸出を行うとともに、安心・安全に利用できるよう施設の維持管理を行う。 ・施設の将来的な大規模修繕に備え、指定管理者である株式会社ガンバ大阪より大規模修繕費として支払いを受け、サッカースタジアム基金へ積立てを行う。 ・市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツ料をスポーツ推進基金に積み立て、サッカースタジアムの利用促進やスタジアム周辺の環境整備等を行う費用に充当する。							

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
プロサッカー入場者数	人	146,374	173,021	451,285	プロサッカーの試合（J1リーグ、ワールドカップ予選、天皇杯等）の入場者数
プロサッカーの試合数	試合	35	31	24	プロサッカーの試合（J1リーグ、ワールドカップ予選、天皇杯等）の試合数
その他入場者数	人	12,286	25,358	129,222	プロサッカーの試合以外（諸室等利用、視察、指定管理者自主事業等）の入場者数
その他の利用件数	件	426	531	795	プロサッカーの試合以外（諸室等利用、視察、指定管理者自主事業等）の利用件数

II 活動実績・成果

<p>【成果の指標1】 プロサッカー入場者数の評価 ・入場者数 451,285人（前年度実績から278,264人の増） 新型コロナウイルス感染症の影響による人数制限が解除されたことにより増加した。</p> <p>【成果の指標2】 プロサッカーの試合数の評価 ・試合数 24回（前年度実績から7回減） J1リーグのチーム数の減及び国際マッチの減により減少した。</p> <p>【成果の指標3】 その他の入場者数の評価 ・入場者数 129,222人（前年度実績から103,864人の増） 自主事業において、スタジアム初となるコンサートを2日間実施したことや、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し諸室等の利用が増えたことから大幅に増加した。</p> <p>【成果の指標4】 その他の利用件数の評価 ・利用件数 795件（前年度実績から264件の増） 新型コロナウイルス感染症の影響による制限が緩和したことにより増加した。</p>	<p>【財務情報に基づいた評価】 経常費用について、サッカースタジアム基金からサッカースタジアム管理事業に一部充当し、スタジアムビジョンの改修等を行ったことにより、前年度に比べて大幅に増加した。</p>
--	---

III 課題と今後の取組

<p>プロサッカーの試合以外での利用の促進について、市民に幅広く利用してもらえるよう、更なる周知が必要である。 建物や設備の劣化状況に応じて、定期的に大規模修繕計画の見直しが必要である。 今後も、スポーツ推進基金のより有効な活用に取り組むとともに、継続してネーミングライツ料が確保できるような事業者等へのアプローチが必要である。</p>	
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,043	581	△462
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,043	581	△462
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	9,767,902	9,320,943	△446,959	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	10,439	5,241	△5,198
建物・工作物	9,767,902	9,320,943	△446,959	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	10,439	5,241	△5,198
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	11,482	5,822	△5,660
建物・工作物	-	-	-	純資産	10,169,976	9,514,487	△655,490
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	13,870	10,001	△3,869	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	399,687	189,365	△210,321
投資その他の資産	399,687	189,365	△210,321	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	399,687	189,365	△210,321
基金	399,687	189,365	△210,321	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	10,181,458	9,520,309	△661,149
資産の部合計	10,181,458	9,520,309	△661,149	負債及び純資産の部合計	10,181,458	9,520,309	△661,149

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	2	3	3	1
その他	421,069	426,458	456,459	30,001
経常収入 小計(a)	421,071	426,461	456,462	30,002
給与関係費	11,573	13,089	6,573	△6,517
物件費	151,234	156,615	156,535	△79
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	129,107	122,479	398,538	276,059
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	450,596	450,187	450,828	641
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	855	1,043	581	△462
退職手当引当金繰入額	△8,418	1,976	△4,733	△6,709
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	734,946	745,388	1,008,321	262,932
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△313,876	△318,928	△551,858	△232,931
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	1,791	45,503	-	△45,503
特別収入 小計(d)	1,791	45,503	-	△45,503
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	24,541	-	△24,541
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	24,541	-	△24,541
特別収支差額(d)-(e)=(f)	1,791	20,961	-	△20,961
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△312,085	△297,966	△551,858	△253,892
一般財源充当額	14,651	14,998	8,215	△6,783
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△297,433	△282,969	△543,643	△260,675

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	減価償却による446,959千円の減
【BS】 基金	スタジアムビジョン改修及びホームタウン推進事業等の実施による減 △210,321千円
【PL】 経常収入その他	サッカースタジアム基金への大規模修繕費の積立額の増 30,001千円
【PL】 負担金・補助金・交付金等	スタジアムビジョン改修等による負担金の増 276,059千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
入場者1人	コスト	1,978円	1,608円	1,737円
	実績	158,660人	198,379人	580,507人
	コスト	円	円	円
	実績			

分析内容
新型コロナウイルス感染症の影響による人数制限が解除されたため、前年度に比ベスタジアム利用人数総数が大幅に増加したものの、ビジョン改修による負担金の増があったことから、入場者1人当たりのコストが微増となった。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	421,071	426,461	456,462	30,002
行政サービス活動支出	294,810	293,918	563,153	269,235
行政サービス活動収支差額	126,261	132,543	△106,690	△239,233
投資活動収入	129,089	122,462	398,478	276,017
投資活動支出	270,002	270,003	300,003	30,001
投資活動収支差額	△140,912	△147,541	98,475	246,016
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△14,651	△14,998	8,215	6,783
一般財源充当額	14,651	14,998	8,215	△6,783
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	2,420	144	0.90
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	2,420		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		19.2	22.6	26.2	3.6
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		5.8	5.9	8.0	2.1
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		2.6	2.7	1.0	△1.7